

子どもは、一人は指導員が好き、

(学習意欲の学校化！)

評測の目で見たい 子どももよからずになれない、先生とだけ見たい

(指導員) — 子ども絶対が魅力である —

子どもは、一人は先生が好き、(子どもの気持ち)

- ① いじめに巻きこまれる... 子どもの中には一番の近道
- ② えがおの先生がい。 (えがおがあるよ) 秘伝(学芸)
にこにこ笑って 褒められしてよあなをくれる
- ③ 先生とだけ見たい。自分の受取をかわるたびにとか「ひみ合自
先生は...」と誇ってくれる。 (自らの木(マ)と誇)
- ④ ぶん、てきま道にめがけられる。 五臓六腑(内)の子先生。
「へい、へい」と先生を褒めてほ。?
- ⑤ 失敗(つ)まがたにきりわがえられる
(失敗やまがたが可まれば、(わ)先生(て))
失敗をするのだからいってマタ(て)も
- ⑥ 黙ってて、いじめたり、ひらけたり 隠してたりと
わがえられる
- ⑦ おもしろくてマタ(て)がある
(子どもの想像力(つ)まがたにはあな(て)はひい)
- ⑧ いろいろな先生には、きこく、そそ 本義に叱てくれる
— (わ)先生とはちがう (怒↑叱)
- ⑨ 何をきくか、何をきくか、この先生がど人(つ)まがたに育てほ(か)も
い(て)が向られる。 あなは、何も？
- ⑩ かこ(て)先生がええ、学(び)習(する)教師(て)あなだ。
本義(て)の人、ア(て)く(て)子ども(に)胸(を)はける(を)も持てたい。
。が得意 。ができる 。しる(る)先生(を)ま(し)て(つ)ね
- ⑪ 先生(て)は... や(り)と(て)通(し) (ま)には、(ほ)ん(と)ま(る)か(も)
先生(て)に... (わ)先生(が)ええ (指(指)書(書)上(上)) 居(る)
- ⑫ 子ども(に)い(っ)て(は)休(休)む(る)よ(う)を(ま)し、 遊(遊)ぶ(る)よ(う)を(ま)し。
い(っ)て(は)休(休)む(る)よ(う)を(ま)し、 本(本)を(ま)る(る)よ(う)を(ま)し、 手(手)品(品)を(ま)る(る)よ(う)を(ま)し、 歌(歌)を(ま)る(る)よ(う)を(ま)し、...
- ⑬ 感謝(を)先生(に)ま(し)る、 (お(お)お(お)い、感(感)性(性))
子どものお(お)は(は)笑(笑)い(い)や(や)祈(祈)り(り)を(ま)り(て)心(心)を(ま)る(る)先生(を)
子どものま(ま)た(た)白(白)紙(紙)や(や)紙(紙)を(ま)る(る)先生(を)、 (お(お)お(お)い)と(と)い(い)て(て)
ま(ま)る(る)先生(を)と(と)い(い)て(て)心(心)を(ま)る(る)先生(を)
- ⑭ 学習意欲(を)
「文(を)一(一)番(番)大(大)人(人)に(に)な(な)る(る)ほ(ほ)い(い)」
ほ(ほ)も(も)ほ(ほ)て(て)お(お)れ(れ)ん(ん)と(と)い(い)つ(つ)た(た)と(と)い(い)
この村(の)の(の)何(何)れ(れ)が(が)整(整)理(理)の(の)空(空)気(気)を(ま)る(る)
- ⑮ 勉強(を)わ(わ)か(か)ら(ら)ず(ず)教(教)え(え)て(て)くれる (学(学)校(校)の(の)理(理)想(想))
- ⑯ 母(母)と(と)父(父)と(と)仲(仲)良(良)い(い)つ(つ)た(た)ら(ら)好(好)ま(ま)い

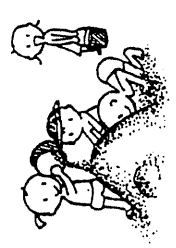
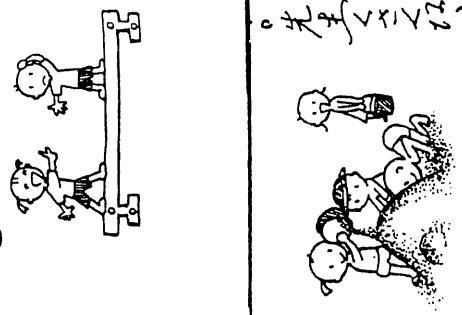
くまさん
くまさん
びい
おん
おん
おん
おん
おん

まわりの目
評測
「子どもに
ほめられたい
ア(て)く(て)と(と)
言(い)わ(わ)れ(れ)て(て)...

「わ(わ)先生(を)ま(ま)り(り)に(に)
先生(を)
ま(ま)り(り)に(に)先生(を)ま(ま)り(り)に(に)
先生(を)
新(新)美(美)学(学)校(校)の(の)
ま(ま)り(り)に(に)先生(を)

評測の目で
子どもを見たい
よからずになれない
(学(学)校(校))

先生とだけ見たい



③ 子どもの言葉を太に抱に聞けよう — 親がもつてくるのは話

子どもの言葉が 見える目と心

抱に聞けよう 聞けにしよう 抱に聞けよう 抱に聞けよう

④ 親の要は子どもの側で言わばい

「抱に聞けよう...」 「抱に聞けよう...」 「抱に聞けよう...」

「抱に聞けよう...」 「抱に聞けよう...」 「抱に聞けよう...」

子どもに悲しい思いもさせまい

— 親の抱き役 受け止める手にほれる男力も —

まわり道の手紙 一人の教師の抱き 一人の抱き 抱き 抱き

子どもは 抱き 抱き 抱き 抱き 抱き 抱き